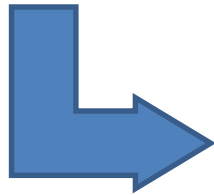


桃園市民プール(室内)整備事業



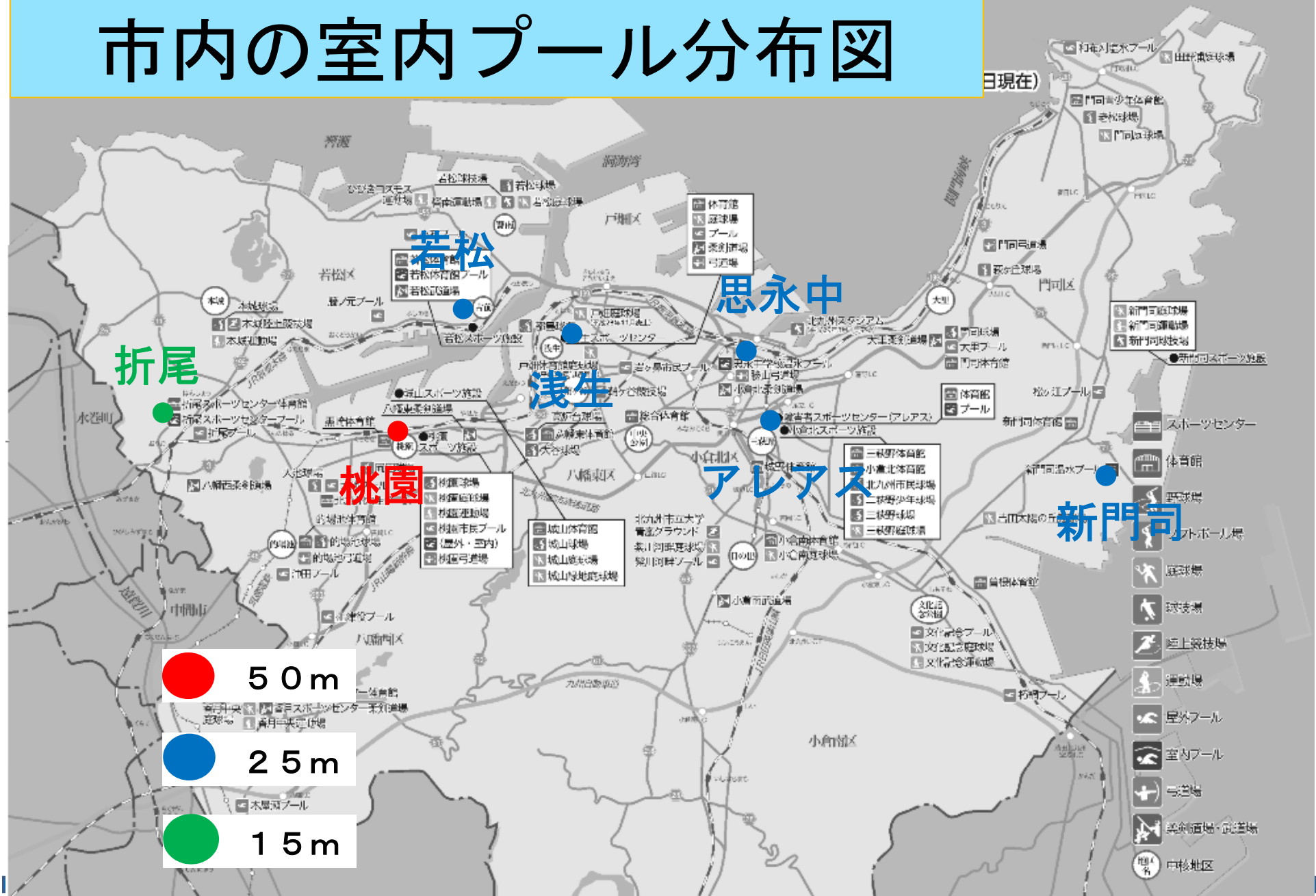
イメージ

市民文化スポーツ局スポーツ部スポーツ振興課

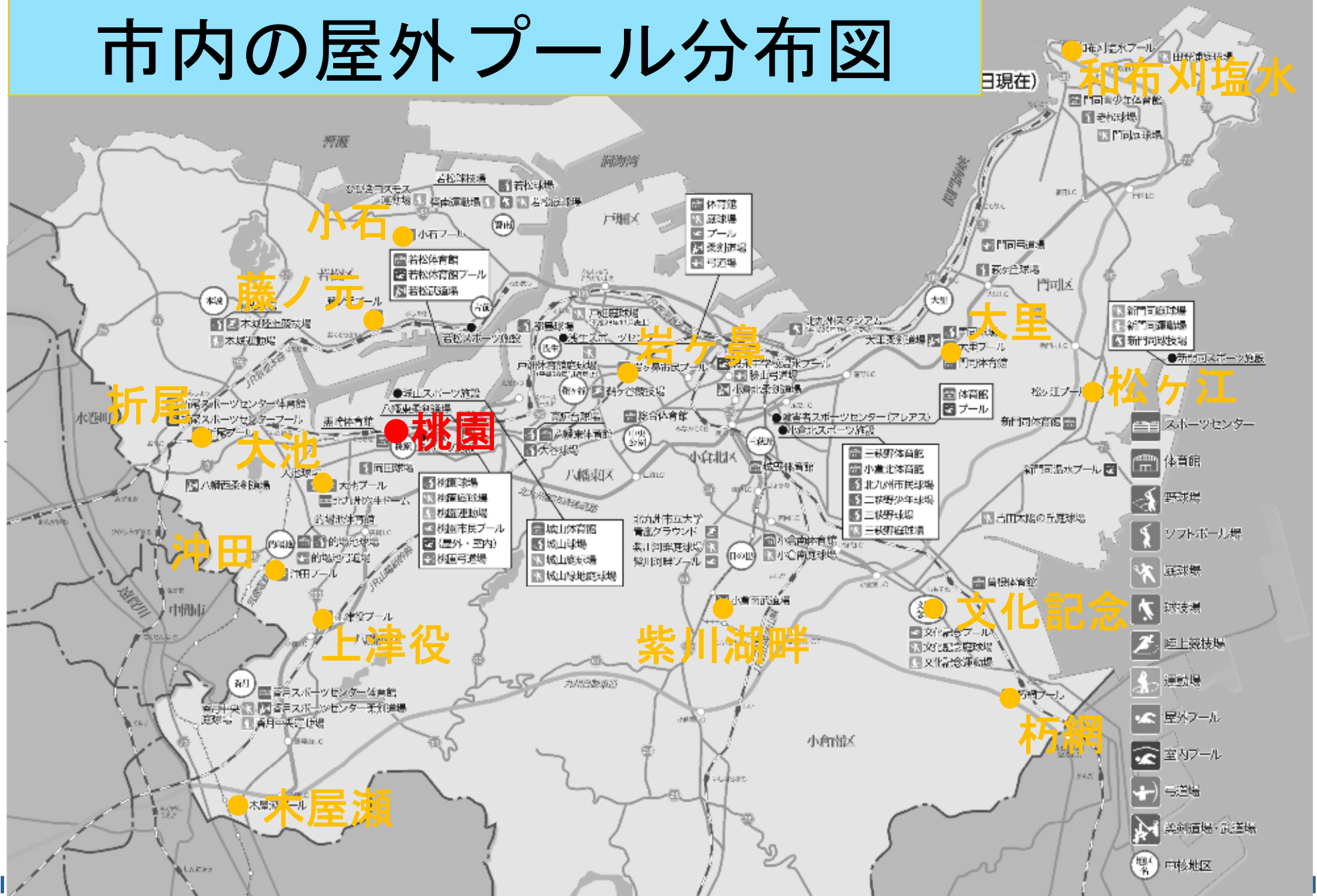
平成28年12月22日

事業名
桃園市民プール（室内）整備事業
事業期間
H28～H31年度（H32：2020東京オリ・パラ）
事業目的
<p>老朽化が進み更新時期を迎えている桃園プール （本市唯一の室内50m・公認・築53年） を建替えることで、</p> <ul style="list-style-type: none">■スポーツ振興、市民の健康増進■一般競技大会の開催■2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の キャンプ地誘致 を図るもの

市内の室内プール分布図



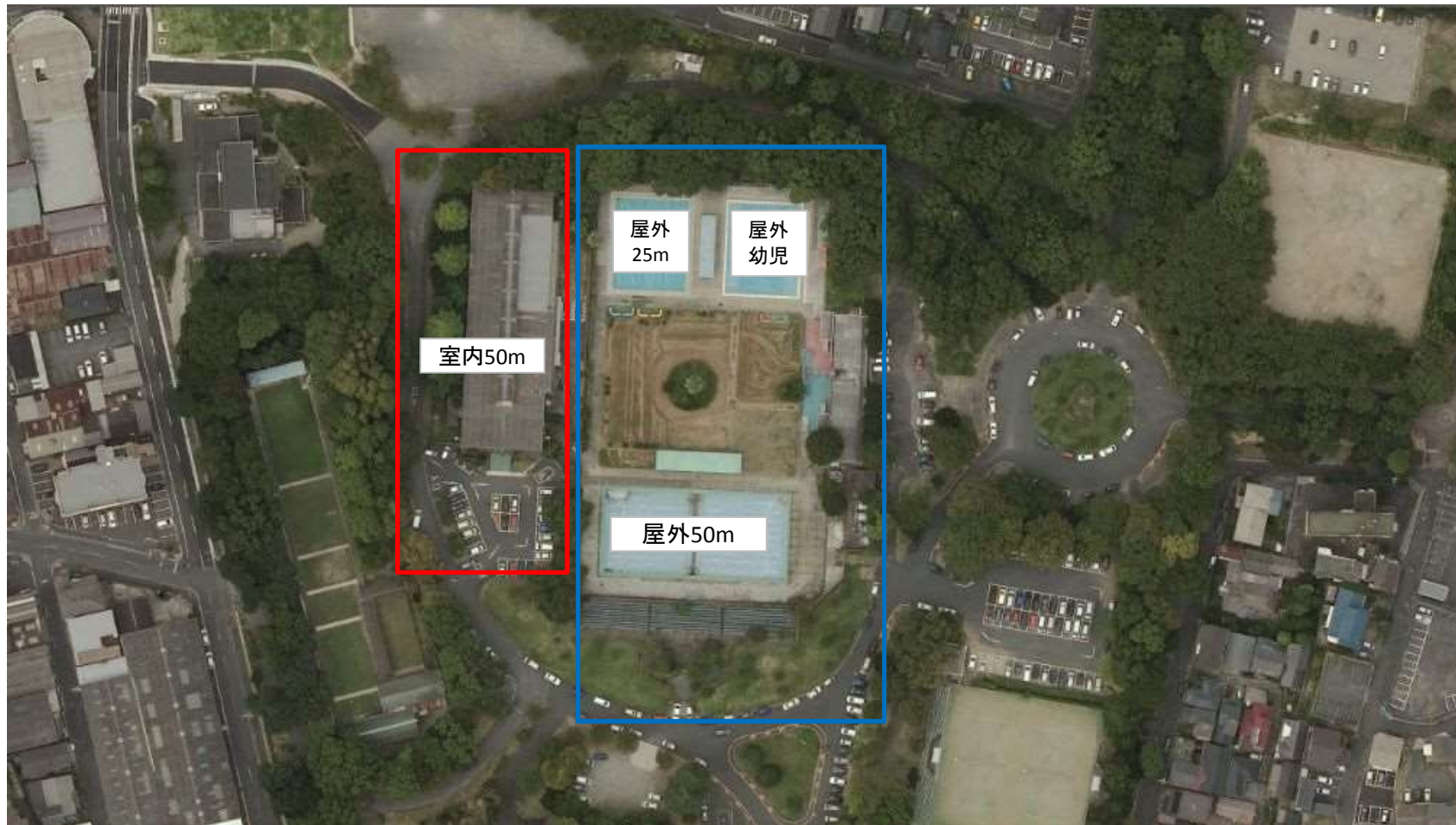
市内の屋外プール分布図



桃園公園 平面図



現状の桃園プール（室内・屋外）



室内プール 昭和38年開設

屋外プール 昭和37年開設

現状・課題

- 老朽化 …… 利用者の安全確保
- プール設備の機能不足 …… サブプールなし ・ コース数不足
- 施設全体の機能不足 …… ユニバーサルデザイン化 ・ 諸室、観覧席の不足
- 公共施設マネジメントに基づく集約化 …… 屋外プールの廃止
- 利用者の推移 …… 屋外プール減、室内プール増

関係者の声

- 競技団体（市水泳協会）
 - ・ 大会開催用のサブプール(25m) 要望
 - ・ 観覧席(800席)、諸室の拡充
 - ・ 50mプールのコース数増（8コース）
- 議員
 - ・ 大会開催用サブプール(25m) 要望
 - ・ 観覧席の確保
- 地元
 - ・ 25mプールや幼児・児童プール(500m²) の継続要望

現状と課題

整備後50年以上が経過し、老朽化しており、利用者の安全確保の面からも、施設の更新が必要である



【老朽化した室内プール】



【休止している屋外プール】

現状と課題

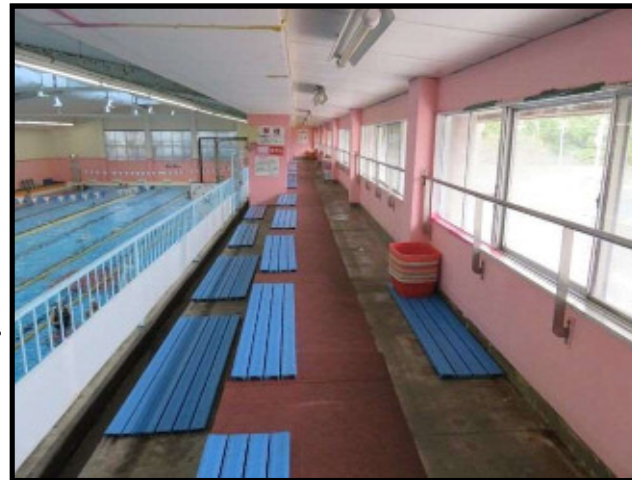
サブプール
がない



更衣室が狭い



諸室が不足



観客席が不足



施設全体のユニバーサルデザイン化がなされていない

〈外観の状況〉



北九州市スポーツ振興計画 1

■ 基本施策Ⅲ－3

「みる」スポーツや大規模国際大会等の誘致に対応する
高規格・大規模施設の整備

■ 主な取組事業

「桃園市民プール(室内)」の整備

老朽化が進み更新時期を迎えた室内プールについて、
県・市内大会などの一般競技大会の開催や
オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地誘致に
対応可能な施設として、
本計画期間中（～H32）の完成を目指し、整備を進める

北九州市スポーツ振興計画 2

■基本施策Ⅲ-2

オリンピック・パラリンピック等への協力・参画を契機とした
スポーツの振興

■主な取組事業

☆オリンピック・パラリンピック等のムーブメントの推進

☆オリンピック・パラリンピック等キャンプ地の誘致

☆オリンピック・パラリンピック等を契機とした国際交流の推進

☆オリンピックを活用したスポーツイベントや講習会の開催

☆トップアスリートによるジュニア育成の充実

公共施設マネジメント実行計画 1

- 一般競技大会に対応可能な公認プールとして存続
【桃園（屋内50m）、文化記念（屋外50m）、浅生（屋内25m）】
- 一般利用は通年利用が可能な屋内プールを基本とし存続
- 屋外プールは、民間プールの活用や近隣の学校施設の開放などにより、廃止を検討

公共施設マネジメント実行計画 2

■個別施設のマネジメント計画（建物を有するスポーツ施設）

施設	1期 H28～H37	2期 H38～H47	3期 H48～H57	4期 H58～H67	H68以降
プール	〔屋内〕 ○桃園市民			○新門司温水 ○折尾スポーツセンター	○戸畑D(新) ○若松体育館
	〔屋外〕 ●仙水 ●西戸畑 ●岩ヶ鼻(段階的) ↑(H28)戸畑Dに集約し廃止 ▲桃園市民	●大里(モデルプロジェクト) ▲松ヶ江 ▲和布刈	▲朽網 ▲紫川河畔 ▲小石、藤ノ元	○文化記念	▲木屋瀬
		▲大池、折尾、 上津役、沖田	(志井ファミリープール)		

◎：大規模大会に対応する施設として長寿命化を図り、存続する施設

○：一般大会施設として存続する施設

☆：モデルプロジェクトにより整備計画中の施設

□：管理のあり方を検討する施設

●：廃止を進める施設

▲：廃止を検討する施設

（「北九州市公共施設マネジメント実行計画（平成28年2月）」より抜粋）

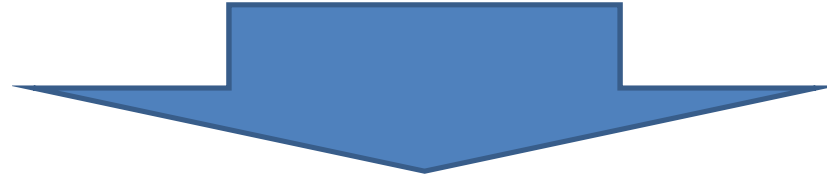
公認規則・要領

■ プール公認規則、公認プール施設要領 【公益財団法人 日本水泳連盟】

国内一般50mプール

- ・ 8コース以上
- ・ サブプール併設（50mまたは25mが必要）
- ・ 観覧席800席以上（仮設含む）
- ・ 駐車場

整備の方向性



これらの状況を踏まえ、

- 室内50mプールは、本市唯一の公認プールとして再整備
- 大会開催に必要なサブプールを整備
- 屋外プールは、室内へ集約することにより廃止

整備の内容（室内プール）

- 50mプール（8コース）
 - ・公認プールとして競技大会に対応
 - ・オリ・パラキャンプ地誘致
 - ・室内・屋外50mの集約先（市民利用に対応）

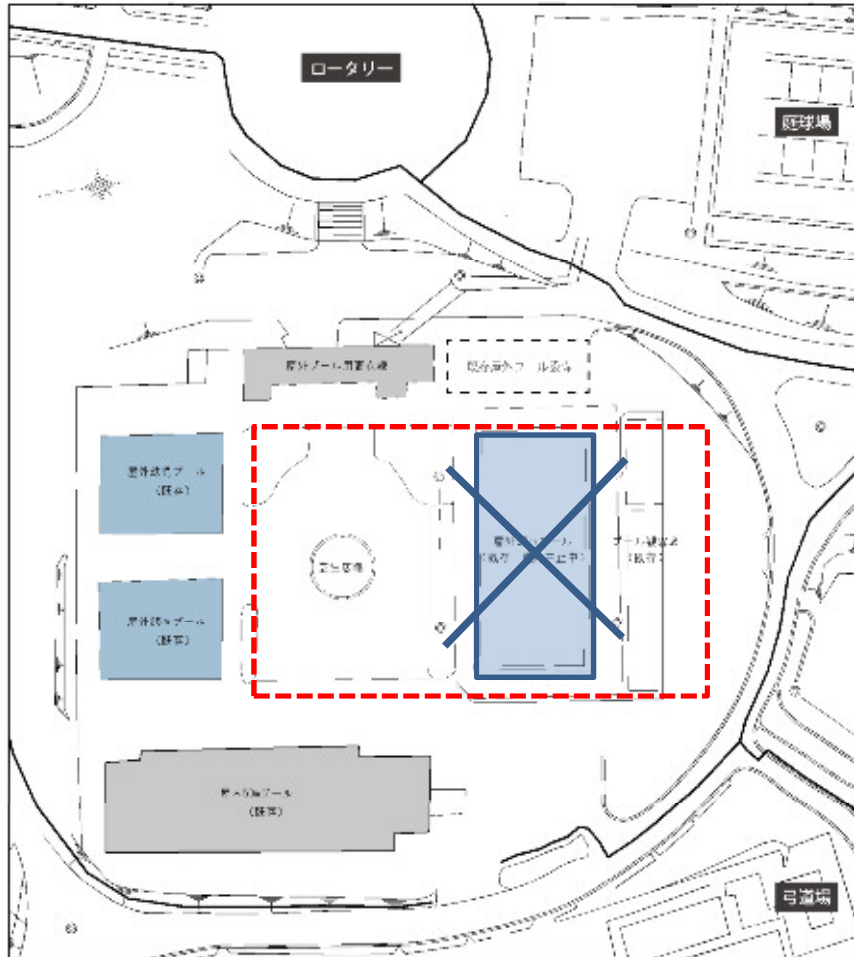
- 室内25mプール（6コース）
 - ・競技大会のサブプール
 - ・屋外25mの集約先
 - ・小中学校の学校プールとして将来的に活用（2校程度）

- 幼児・児童プール（150m²）
 - ・屋外の集約先

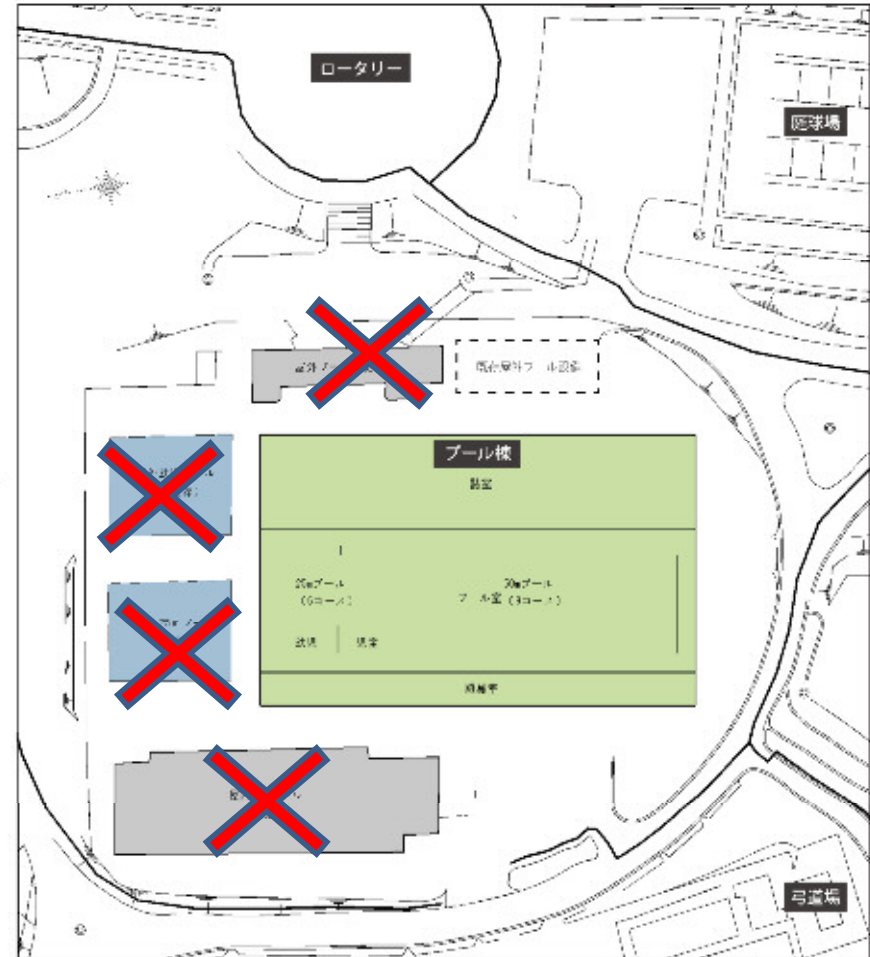
- 観覧席 ・800席程度

レイアウトイメージ 1

現況



整備予定



幼児・児童イメージ

整備予定イメージ



現在の桃園プール
(屋外幼児)



整備スケジュール(案)

桃園プール（室内） 整備スケジュール（案）				
H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
2016	2017	2018	2019	2020
基本設計	実施設計	起工 契約	整備工事 (1年6ヶ月)	東京オリンピック・ パラリンピック
		解体工事 造成工事		

事業の目標設定

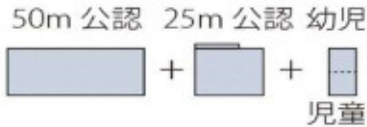
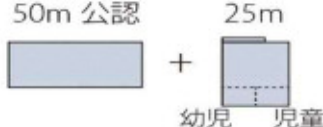
目標 1	年間利用者数の増加 (人)	H27年度	100,000	H33年度	150,000
目標 2	一般競技大会の実施 (回)	H27年度	1	H33年度	7
目標 3	維持管理コストの抑制 (市の実質負担額:円)	H23~ 27年度 (平均)	70,100,000	H33年度	68,600,000

水泳大会等
実績
および
計画

(福岡県内)
(H28)

	福岡県水泳連盟		九州水泳連盟	
4月	①福岡県SC水泳大会	福岡西市民		
5月	②日本マスターズ短水路大会	福岡西市民	④西日本年令別	福岡県立
	③春季高校選抜	福岡西市民		
6月	⑤福岡県高校選手権	福岡西市民		
7月	⑥県選手権・国体予選	福岡県立		
	⑦全国JOC夏季・福岡県予選会	福岡県立		
	⑧福岡県中学水泳競技大会	福岡西市民		
8月	⑨福岡県民体育大会夏季	筑豊緑地		
	⑩国体合宿	福岡県立		
9月	⑪県中学新人	福岡県立		
	⑫高校新人	福岡西市民		
10月	-	-	⑬末広杯	福岡西市民
11月	⑭福岡県SC水泳大会	福岡西市民		
	⑮日本障がい者水泳選手権	福岡西市民		
12月	-	-	⑯冬季短水路公認記録会	福岡西市民
1月	⑰全国JOC春季・福岡県予選会	福岡西市民	⑱新年フェスティバル	福岡西市民
2月	-	-	⑲九州カップ	福岡西市民
3月	-	-	⑳九州学生短水路記録会	福岡西市民

建設コスト・コスト縮減1

No.	①	②
概要	【3つのプールが独立】	【25mと幼児・児童 一体型】
仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50m公認 (8コース) 50m×21m ・ 25m公認 (8コース) 25m×21m ・ 幼児・児童用 200m² 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50m公認 (8コース) 50m×21m ・ 25m (8コース) 25m×28m 幼児・児童用一体型 幼児・児童 200m²
	 <p>50m 公認 25m 公認 幼児 児童</p>	 <p>50m 公認 25m 幼児 児童</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築面積が最も大きい ・ 様々な利用が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築面積がやや減少 ・ 様々な利用が可能
施設床面積	7,250m ²	6,850m ²
総事業費 (千円)	4,085,000	3,865,000

建設コスト・コスト縮減2

No.	③	④
概要	【25mと幼児・児童 一体型】 25mを6コースに縮小	【25mと幼児・児童 一体型】 25mを6コースに縮小 幼児・児童を150m ² に縮小
仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50m公認 (8コース) 50m×21m ・ 25m (6コース) 25m×23m 幼児・児童用一体型 幼児・児童 200m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50m公認 (8コース) 50m×21m ・ 25m (6コース) 25m×21m 幼児・児童用一体型 幼児・児童 150m ²
	<p>50m 公認 + 25m 6コース 幼児 児童</p>	<p>50m 公認 + 25m 6コース 幼児 児童</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築面積がさらに減少 ・ 様々な利用が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築面積が少なく効率的 ・ 様々な利用が可能
施設床面積	6,650m ²	6,500m ²
総事業費 (千円)	3,715,000	3,615,000

なお、その他解体費や備品費等を合わせると全体事業費は約3.9億円を見込む

小中学校プールとして活用の検討



1校で約1億円の削減

維持管理コスト・コスト縮減1

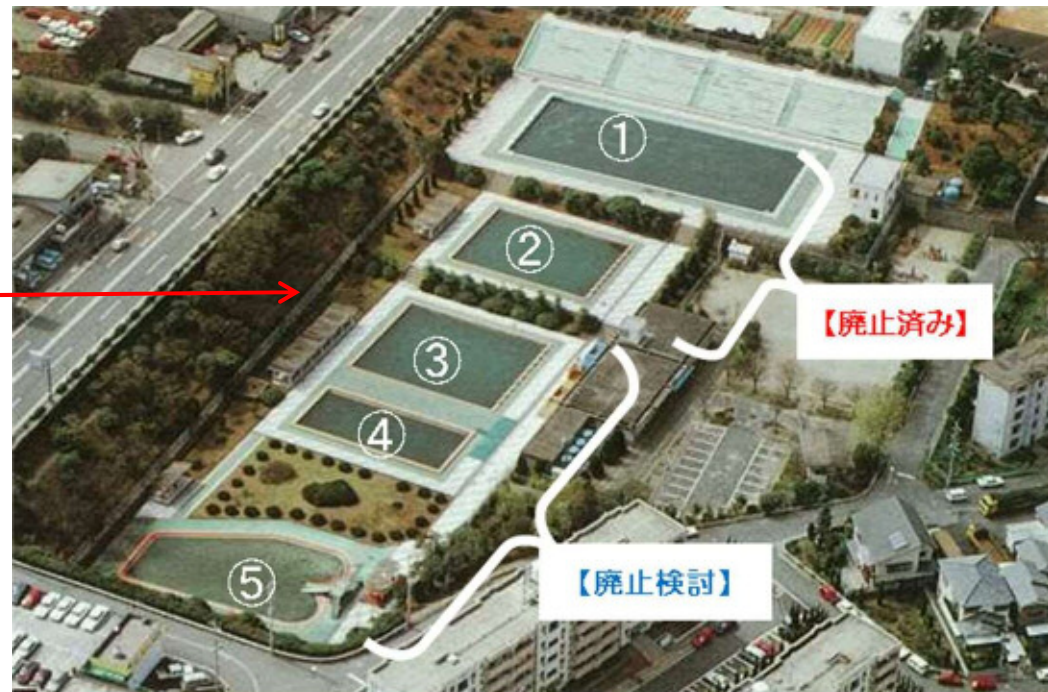
- 維持費は、年間8,300万円を見込む（現在：8,100万円）
- 維持管理費は増えるものの隣接する庭球場の受付等の統合や利用者数の増加に伴う収入増により市の実質負担額は減る見込み

	維持管理費 (千円)	使用料収入 (千円)	市の実質負担額 (千円)
現在	80,743	10,651	70,092
将来	82,872	14,318	68,554
			▲1,538

- 管理運営は、指定管理制度による管理運営を予定

維持管理コスト・コスト縮減2

■ 岩ヶ鼻プールの廃止を検討 年間2,000万円



■ 学校プールの維持管理費 年間 約100万円 (2校)

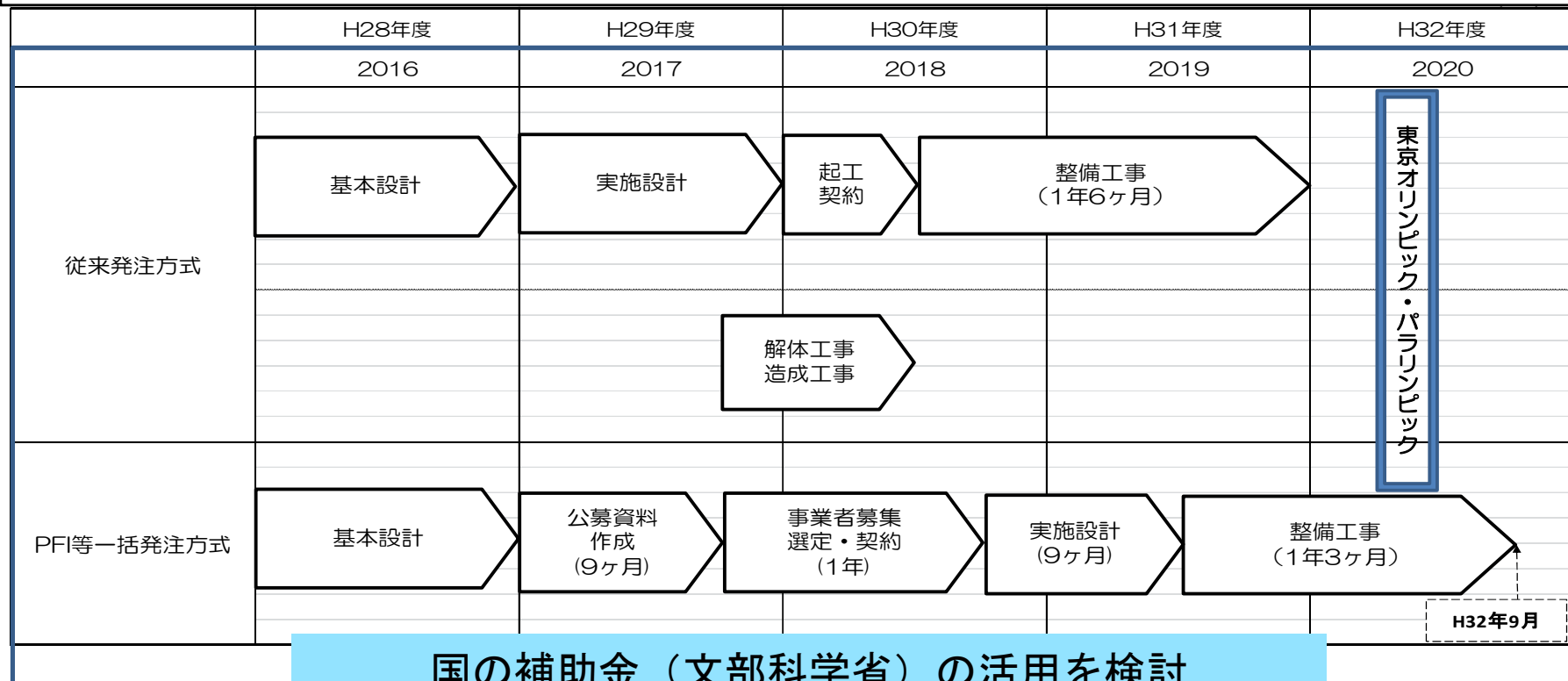
事業手法

- VFM値 : 4.4% ⇔ ・ PFI実施事業のVFM平均値 : 約10%
- ・ PFI中止事業のVFM平均値 : 約 7%

参考)総務省地域力創造グループ地域振興室 (2011)「地方公共団体におけるPFI実施状況調査報告書」
 総務省報道資料, http://www.soumu.go.jp/main_content/000140204.pdf, (参照 2016-12-15)

■ 整備にかかる全体スケジュールを踏まえ

⇒ 従来発注方式



国の補助金（文部科学省）の活用を検討



ご清聴ありがとうございました

※写真はイメージです